

## 海外留学 秋募集要項 (2020年11月締切分)

～2021年秋出発プログラム～  
早稲田大学 留学センター

2020年10月23日更新

### ◆出願に際しての注意点◆

- ❑ この冊子に書かれていることを熟読し、プログラムリストの内容をよく確認、理解した上で出願してください。  
<https://www.waseda.jp/inst/cie/from-waseda/abroad/programlist/list>
- ❑ プログラム候補者となった後は、原則として辞退することはできません。 正当な理由なく辞退した場合、それ以降の留学センター海外留学プログラム（短期プログラムを除く）への応募資格が失われます。
- ❑ プログラム候補者となった後においても、次のような場合は渡航直前や渡航後であっても、留学中止の勧告を行うことがあります。
  - 学業不振の場合
  - 書類提出の締め切りを守らない、必要な手続きを行わない場合
  - 留学をするにふさわしくないと留学センターが判断した場合
  - 新型コロナウイルスの感染状況
- ❑ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、留学が中止となる可能性もあります。その場合、それまでにかかった費用は自己負担となり、留学センターからの返金はございません。
- ❑ 各学部・研究科で独自に行われている箇所間協定プログラムへの出願については、直接所属学部・研究科の事務所に確認してください。

### 更新履歴

	更新日	内容(項目)
1	10月2日	募集要項公開
2	10月9日	出願選考スケジュール GLFP部分(P.6~7)、学内選考方法 GLFP部分(P.20) 出願書類チェックリストリンク更新(P.16)
3	10月12日	対象プログラム(予定) 英語 Double Degree Program部分(P.12)、② 出願必要書類提出 (h) 英語 DDプログラム・Advanced Scholars' Program 専用小論文(P.20)
4	10月23日	GLFP対象大学(P.4)、特定プログラム対象大学(P.8) Advanced Scholars' Program(P.4、13、21)、DDプログラム(P.21)

◆目次◆	ページ
1. 対象プログラム概要	p. 2
2. 出願・選考スケジュール	p. 5
3. 出願資格・要件について	p. 7
4. 今回の募集からの変更点（追加情報）について	p. 11
5. 学内選考出願・選考方法について	p. 14
6. 候補者の諸手続きについて	p. 22
7. 危機管理について	p. 24

## 1. 対象プログラム概要

### 対象プログラム概要

主として1学年相当期間（1学期間のプログラムも一部あり）、海外協定大学に留学する中・長期プログラムです。中・長期プログラムにはそれぞれに違う特徴を持ったプログラムがあり、400校を超える海外協定校と連携しながら提供しています。各自のレベルや目的に合わせて留学プログラムを選択してください。ラインナップや詳細な情報については、必ず最新の海外留学プログラムリストをご確認ください。

<https://www.waseda.jp/inst/cie/from-waseda/abroad/programlist/list>

### （1）プログラム名称とその特徴

#### ①Double Degree Programs (DD)

本学在学中にダブルディグリーのカリキュラムを提供する大学に留学し、所定の要件を満たせば、卒業する際に本学の学位と留学先大学所定の学位の両方を取得できるプログラムです。留学先大学におけるダブルディグリー課程修了のためには、外国語に関する高度な読解力、聴解力、会話力が求められるため、参加希望者の語学力については特に厳格な審査を行います。なお、プログラムによって、対象学部・研究科や期間が異なります。

#### 【費用について】

EXと同様に早稲田大学の所属学部の学費等を納めます。

- ・ただし、Earlham College, DDの場合はCSプログラムと同様に、留学先大学の学費等を早稲田大学に支払うことによって、早稲田大学の学費が免除されます。
- ・いずれの場合も、ダブルディグリー登録料（15万円）が別途必要になります。

#### ②Exchange Programs- Regular Academic Programs (EX-R)

大学間あるいは箇所間の交換協定に基づき留学する制度です。留学期間は原則として1学年相当期間ですが、1学期間のももあります。最初から比較的高い語学力が要求され、現地の学生と共に通常科目

を履修するプログラムです。人数枠は通常各校 1～3 名です。学費は原則として本学に支払い、留学先大学の学費は免除されます。

#### 【費用について】

EX プログラムに参加する場合、早稲田大学での所属箇所の学費等を支払うことにより、留学先大学での学費が免除されます（一部プログラムを除く）。

- ・ 宿舎費や食費（プログラムリストの” EST. ROOM & BOARD” に示されている金額）は渡航後にご自身で留学先大学に支払うことがほとんどです。また、協定校によってその項目は異なりますが、College Fee、Technology Fee、Insurance Fee、Mandatory Fee 等、学費以外に現地で別途費用がかかる場合があります。その金額は留学先大学によって異なりますが、場合によって年間 10 万円を超える負担が必要となることがあります（特に北米の交換協定校、オレゴン州立大学連盟、カリフォルニア州立大学連盟、ニューヨーク州立大学等の協定校）。
- ・ 延長生で交換留学にて留学をする学生については、学費の取り扱いが異なります。延長生は所属学部・研究科に確認のうえ、出願時に必ず所属事務所および留学センターに申し出るようにしてください。

### ③Exchange Programs- Language Focused Programs (EX-L)

大学間あるいは箇所間の交換協定に基づき留学する制度です。留学期間は原則として1学年相当期間ですが、1学期間のものもあります。外国語学習を中心としたプログラムで、語学力を磨きたい人にお勧めです。ただし、このプログラムを提供している大学は比較的少ないため、対象校の確認をしてください。人数枠は通常各校 1～3 名です。学費は原則として本学に支払い、留学先大学の学費は免除されま

#### 【費用について】

上記、EX-R の該当箇所をご確認ください。

### ④Customized Study Programs- Regular Academic Programs (CS-R)

留学先大学が早大生のために定めるカリキュラムに参加するプログラムです。最初から留学先大学の通常カリキュラムの中で、現地の学生とともに通常科目を履修できます。留学は原則として1学年相当期間ですが、1学期間のものもあります（CS-R(1semester)プログラム）。学費は原則として本学のものは免除になり、留学先大学に所定のプログラムフィーを支払います。

#### 【費用について】

プログラムフィーには、現地での学費、プログラム開発・運営費（1学年期間 10 万円、1 学期間 5 万円）などが含まれています（プログラムリストの”EST. TUITION” に示されている金額）。

- ・ 宿舎費や食費（プログラムリストの”EST. ROOM & BOARD”に示されている金額）、また、設備費やオリエンテーション費等は渡航後にご自身で留学先大学に支払うことがほとんどですが、いくつかのプログラムでは、プログラムフィーに含めて早稲田大学に納めていただく場合があります。

- ・ プログラムリストにある金額は、留学先大学の学費の値上げ、為替レートの変動、外国政府の財政状況や政策変更などに伴い、金額が上昇する場合があります。実際の納入は、留学先大学からの請求金額を留学センター規定レートにて日本円に換算した金額でお支払いいただきます。
- ・ プログラムフィーは、指定期日までに留学センターの指定口座に必ずお振り込みください。
- ・ 同じ国への留学であっても、請求金額が確定する時期によって、換算レートが変動します。
- ・ " EST. ROOM & BOARD " の金額には昨年度実績ベースではないものも含まれています。

### ⑤ Customized Study Programs- Language Focused programs (CS-L)

留学先大学が早大生のために定めるカリキュラムに参加するプログラムです。CS-Lプログラムの特徴は、外国語学習を中心としながら、語学レベルに応じてテーマに基づいたカリキュラムを履修できる点です。留学は原則として1学年相当期間ですが、1学期間のものもあります (CS-L(1semester)プログラム)。学費は原則として本学のものとは免除になり、留学先大学に所定のプログラムフィーを支払います。

#### 【費用について】

上記、CS-Rの該当箇所をご参照ください。

## (2) 特別プログラム

### ■ グローバル・リーダーシップ・フェローズ・プログラム (GLFP)

- ・ **対象者**：学部生（1年生中心）
- ・ **募集人数**：全体で10名程度
- ・ **期間**：2021年8・9月～2022年5・6月
- ・ **対象大学（2021年度）**：コロンビア大学、シカゴ大学、ジョージタウン大学、ダートマス大学、ワシントン大学（シアトル）、（※詳細はGLFP HPをご確認ください）
- ・ **プログラムの特徴**：  
米国名門大学との協働により、2012年度からスタートした交換留学プログラムです。1年間の海外留学に加え、留学前の準備コース、帰国後には米国から早稲田大学に留学するGLFP参加学生と共に学ぶ1年間の日米共同ゼミやグローバル・リーダーシップ・フェローズ・フォーラムなど、特別な教育カリキュラムが組み立てられており、学部4年間を通じてのプログラムであることが大きな特徴です。
- ・ **費用**：  
学費および別途費用はEXの内容に準じます。

### ■ Advanced Scholars' Program

- ・ **対象大学**：  
イェール大学 (Y-VISP/CS-R)、オックスフォード大学ハートフォード・カレッジ (CS-R)  
オックスフォード大学セントピーターズ・カレッジ (CS-R)、ペンシルベニア大学 (CS-R)
- ・ **プログラムの特徴**：  
名門大学に留学することができる人気の高いCS-Rのプログラムになります。高い語学力が求められるため、出願書類として小論文 (p20参照) の提出、および (合格者に限り) 11月21日 (土) もしくは28日 (土) の面接試験を受験する必要があります。対象者には別途通知します。

### (3) 留学期間について

留学期間は、プログラムによって異なります。1 学年間 (1Y)、1 学期間 (1S) などのプログラムがあります。出願に当たっては留学期間についてよく理解したうえで出願してください。

- プログラム期間の延長は原則として認められないため、留学期間終了後は必ず帰国し、所属学部・研究科にて所定の手続きを経る必要があります。
- 特別な事情を除いて、プログラムには全期間終了まで参加することが求められます。
- 留学期間中は、早稲田大学での科目履修はできません。ただし、留学終了学期が春学期の場合、春学期後半(夏クォーター)に実施する科目を履修する「帰国後登録」が可能となる場合があります。こちらについての詳細は各所属学部にご確認ください。また、夏クォーター期間となる6月中旬から7月中旬の4週間で実施する留学センターの”Waseda Summer Session”科目も履修可能です。こちらの詳細については3月頃に留学センターよりご案内します。
- 自己都合により途中帰国した場合、プログラムフィー、ダブルディグリー登録料、早稲田大学学費、その他留学にかかわる費用は返金されません。
- オセアニア地域のプログラム、韓国のプログラム、イタリアのヴェニス国際大学(留学期間は1semester)は、来年度春学期にも募集を行う予定です(出発は、2022年の春学期となります)。

## 2. 出願・選考スケジュール

### (1) 出願までのステップ

以下、チェックリストを参照し、学内選考までの出願ステップを確認してください。

	チェック内容	期限	チェック
ステップ1	留学の手引きや募集要項の熟読	出願前	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スケジュールや、プログラムによる選考の違いを確認</li> <li>・ <a href="https://www.waseda.jp/inst/cie/from-waseda/faq">海外留学 FAQ (よくある質問)</a> や <a href="#">学内選考の FAQ</a> を確認</li> </ul> <a href="https://www.waseda.jp/inst/cie/from-waseda/faq">https://www.waseda.jp/inst/cie/from-waseda/faq</a>		
ステップ2	プログラムリスト、プログラムオーバービューの確認	出願前	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自身の GPA の計算 (学内選考用、募集要項 p.10 参照)</li> <li>・ 志望するプログラムでの TOEFL、IELTS、GPA、国籍等の制限がないか確認</li> <li>・ 留学先大学の学部ごとに決められている要件を満たしているか確認</li> </ul>		
ステップ3	語学試験の公的証明書の準備	出願前	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 証明書の取り寄せ</li> <li>・ TOEFL/IELTS のセクションスコア、各プログラムの要件を確認</li> </ul>		
ステップ4	WEB 出願登録	11月4日(水) 17:00 まで	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 早めに登録を済ませる</li> <li>・ 登録するプログラムの種別 (DD, EX or CS-R or -L) 言語を確認</li> </ul>		

	・登録後のメール受信確認		
ステップ5	出願書類提出	11月4日(水)まで	
	・募集要項を確認し、提出する書類を期日までに送付。 ・送付前に自身の控えとしてコピーをとっておく。		
ステップ6	面接試験の受験		
	・GLFP, 中国語 DD (一部) および英語 DD, Advanced Scholars' Program, 非英語 EX-R、特定プログラムは受験必須 ※非英語 EX-R はすべてのプログラムの語学要件を満たす公的証明書を出している出願者は受験免除		
ステップ7	選考結果発表の確認		
	・MyWaseda にて選考結果の確認		

## (2) 出願・選考スケジュール

所定の日時以外での出願登録、書類受付や選考試験等は一切行いません。必ずスケジュールを確認し、選考を受けてください。指定の日程で選考試験が受けられない場合や出願できない場合は、選考の対象外となりますので注意してください。

2020年10月9日更新

※内容は変更となる場合があります。

### 【出願選考スケジュール】

日程	時間	内容
10月23日(金)		プログラムリスト プログラム追加最終日 <sup>*1</sup>
10月27日(火) 正午～ 11月4日(水) ～17:00	左記時間に 注意	WEB出願登録 <sup>*2</sup>
10月30日(金)		WEB 出願中間登録状況発表 <sup>*3</sup>  プログラムリスト プログラム情報確定日 <sup>*4</sup>
10月27日(火) ～11月4日(水)		出願必要書類提出 <sup>*5</sup> *GLFP 出願者は以下も提出 ①志望理由書(英語記述) ②小論文(日本語ないしは英語) *英語 DD プログラム・Advanced Scholars' Program 出願者は以下も提出 小論文(英語) (詳細は募集要項を必ずご確認ください)  ※出願の際、TOEFL/IELTS のスコアは原則、2018年12月8日以降に受験したものを提出してください。(TOEFL/IELTS の有効期限は2年間) (ただし、確定情報は募集要項を必ずご確認ください)
11月12日(木) ～11月26日(木)		学部・研究科留学適性判断 <sup>*6</sup>
11月16日(月)		GLFP書類選考結果発表 <sup>*7</sup>

11月21日(土)	GLFP面接試験*8
11月21日(土)、 11月28日(土)	DDプログラム面接試験*9 Advanced Scholars' Program 面接試験*10 非英語面接試験*11 ※ 左記日程のいずれかの日に実施する予定です。応募状況により、別日実施の可能性もあります。  ・オンラインにて実施する予定です。詳細については募集要項をご確認ください。
11月25日(水) ～11月27日(金)	GLFP選考結果発表 ・メールにて個別通知
12月7日(月) 13:00以降～	学内選考結果発表*12

\*1: 10月23日(金)まで順次プログラムリストにてプログラムを追加、更新します。以降はプログラムの追加はありませんが、一部プログラムについては内容が確定していない場合があります。プログラムリスト内、"CURRENT STATE"をご確認ください。(「確定情報」となっているか確認してください)

\*2: MyWaseda 申請フォームにて申請してください。最終日は大変混み合い、締め切り時間内に受け付けができず、出願ができないことがあります。前日までに希望校を検討して登録するようにしてください。なお、**締切後の登録はいかなる理由があろうと受け付けません**ので、終了時間に注意してください。

\*3: 留学センターWEB ページ「お知らせ」に掲載いたします。

\*4: プログラムリスト掲載の全てのプログラムについて 10月30日(金)までに順次確定となります。プログラムリスト内、"CURRENT STATE"をご確認ください。

\*5: 出願書類につきましては、原則、郵送のみでの提出となります。指定された「出願書類提出チェックリスト」および必要書類を揃えた上で、ご自身が用意した A4 サイズの封筒に書類を入れ、封筒表面のわかりやすい場所に「2020 秋募集 応募書類在中」を記入し、郵送してください。 **11月4日(水) 必着**となり、これ以降の書類はいかなる理由があっても受け付けません。 **大変重要な書類ですので郵便書留や宅配便等、配達記録の照会が可能な方法での郵送をお勧めいたします。**なお、書類の紛失等に関し留学センターでは責任を負いかねますので予めご了承下さい。また、提出書類の受領有無に関する問い合わせには、お答えできかねますので、上記方法での郵送をご利用ください。

\*6: ・面接等、所属事務所により連絡があります。内容は各所属学部によって異なり、面接を実施しない場合、連絡はありません。

\*7: メールにて結果をお知らせいたします。

\*8: 書類選考通過者のみ対象となります。対象者には別途連絡をします。

\*9: 中国語(一部)・英語 DD プログラム応募者が対象となります。対象者には別途連絡をします。

\*10: Advanced Scholars' Program 応募者が対象となります。対象者には別途連絡をします。

\*11: 非英語 EX-R プログラム応募者が対象となります。対象者には別途連絡をします。

\*12: MyWaseda 「お知らせ(個人宛・所属事務所から・重要なお知らせ)」にて結果をご連絡いたします。

### 3. 出願資格・要件について

#### (1) 全プログラムの出願資格について

以下すべての出願資格を満たさない場合は、候補者として選出されません。

- (1) プログラム出願時および留学期間中を通して、**本学の学生(正規課程)**として在籍し、学業成績・人物ともに**優秀な者**であること。
- (2) 出願しているプログラムの出願要件を満たしていること。(大学院生、学部生、学年、国籍などが限定されているものがあります)

#### 【注意点】

- 出願するにあたり事前に所属学部・研究科に出願の可否について確認してください。
- 出願先によっては、**出発時に早稲田大学で4セメスター(4学期間)履修していること等、別途**



規定が設けられている場合もあります。プログラムリストに記載された出願要件をよく確認のうえ、出願してください。

- 出願先によっては、二重国籍を保有する学生を受け入れない大学もあります。該当する可能性のある方は、必ず保証人に二重国籍の有無を確認してください。そのうえでプログラムリストでの国籍条件をよく確認し、出願してください。  
万が一、二重国籍を保有しているにも関わらず、留学センターに届け出ずに受入れ不可のプログラムに出願し、候補者として選出された場合でも、ビザの手続きをする際に二重国籍であることが判明します。その場合、ビザが発給されず留学できないばかりでなく、それ以降の留学センタープログラムへの出願資格が失われます。
- 出願時に学部4年生で大学院に進学を予定している出願者については、出願資格について事前に所属学部、および進学を希望している研究科に確認してください。また留学センターにも出願時にその旨連絡をしてください。
- 転部した学生は新しい学籍番号を必ず留学センターに報告してください。
- 人間科学部eスクール生（通信教育課程受講者）はカリキュラムの関係上、出願資格を有しません。

#### ◆国際教養学部の学生の場合◆

- 国際教養学部の学生は、以下の例外を除き、出発時に3セメスター（3学期間）以上を早稲田大学で履修していることが必要です。  
<例外>
  - ・ 4月入学の学生で在籍1学期目に交換留学プログラムに出願する場合
- 国際教養学部の学生が留学を終了した直後の学期末にそのまま卒業することは原則としてできません。
- 1セメスター（1学期間）のプログラムは、国際教養学部（SP1学生）において1年間の海外必修留学（2019年度入学のSP1学生は除く）の条件を満たしません。
- 1セメスター（1学期間）の留学を2セメスター以上完了し、留学期間が1年以上の場合も1年間の海外必修留学（2019年度入学のSP1学生は除く）の条件を満たしませんので、ご注意ください。例外として、CAMPUS Asia副専攻プログラムについては、1セメスター（1学期間）の留学を連続して2セメスター以上完了し、なおかつ副専攻プログラムを修了した場合には、1年間の海外必修留学の条件を満たすことが可能です。

## （2）特定プログラムへの出願について

留学センターでは、外務省の海外安全WEBページにおいて、渡航の延期、中止、または退避勧告が出ている国・地域に応じて、プログラムの募集や実施の可否を検討しています。

外務省の海外安全WEBページの情報を鑑み、今回募集するプログラムのうち、留学センターは特定プログラムとして募集する対象大学を設定しています。また、特定プログラム対象大学に出願する場合は、以下の要件を満たし、所定の書類を提出する必要があります。特定プログラムに指定された大学は以下のURLで確認してください。

### 【対象大学】

[https://www.waseda.jp/inst/cie/assets/uploads/2020/10/20Fall\\_Restrictions.pdf](https://www.waseda.jp/inst/cie/assets/uploads/2020/10/20Fall_Restrictions.pdf)

### 【出願要件・注意点】

- 現地渡航の際、原則として早稲田大学で4セメスター（4学期間）修了している（3年生以上である）もしくは大学院生であることが出願要件です。4セメスターを修了していない場合でも出願を強く希望される場合は、事前に留学センターまでお問合せください。
- 書類提出時に、指導教員による推薦状を提出してください（p20参照）。
- 志望プログラムに応じて、11月下旬に面接試験を行います（p21参照）。対象者には個別に連絡します。

## （3）出願要件について



プログラムリストに語学・GPA 要件が指定されている場合、要件を満たす必要があります。それぞれの要件に関する詳細は、以下を確認してください。

### ① 語学能力

学内選考出願時に、希望しているプログラムの語学要件を満たす必要があります。プログラムリストで語学要件を確認し、応募してください。プログラムリスト (Q12-A-1～Q13-2) に記載されている各語学要件は、出願の最低条件となりますので、**要件を 1 点でも満たしていない場合は、学内選考対象外となります。**

#### (a) 英語プログラム

原則、留学先大学が定める語学能力の証明が必要になります。英語プログラムの場合、出願先の要求スコア（規定がある場合はセクションスコアを含む）を超えた TOEFL のオリジナルスコアカード (Test Taker Score Report) 原本（または、コピー）や IELTS の Test Report Form 原本（または、コピー）を提出できることが出願条件です。なお、学内選考通過後、現地大学への出願時に語学能力証明書の原本を提出いただく場合もございますので原本の提出でも構いません。

#### 【注意点】

- 複数のプログラムに出願する場合、プログラム毎に定められた語学要件を満たした語学能力証明書を提出する必要があります。  
(例) A 大学は TOEFL iBT60、B 大学は IELTS5.0 を要件として定めている場合、A 大学と B 大学を併願する場合は TOEFL iBT60 以上と IELTS5.0 以上の 2 つのスコアを提出する必要があります。
- 同じプログラムであっても、留学先大学で所属する学部によって、さらに要件が細かく指定されているものもあります。**プログラムリストに掲載している要件 (スコア) は、そのプログラムに出願できる最低基準のものです。**留学先大学の特定の学部や特定のプログラムへの参加を検討している場合、**プログラムオーバービューや留学先大学の WEB ページに載っている個々の要件を必ず確認してください。**
- IELTS は 2 つのモジュール (タイプ) のテストがありますが、留学のための出願には **アカデミック・モジュール** の受験が必要ですので申し込みの際注意してください。

#### (b) 非英語プログラム

各種語学能力証明書の提出が求められているプログラム（主に EX-R プログラム）に応募する場合は、原則として要求レベルを超えたスコアカード/公的証明書の原本（または、コピー）を提出できることが出願条件になります。

EX-R プログラムのうち、留学先大学が明確な要求レベルを提示していない場合、または要求されている語学能力を証明する公的試験のスコアカード/証明書の原本（または、コピー）を提出できない場合は、**対象者に面接試験を実施**のうえ、出願者の語学力を判定します。面接試験の詳細については、別途該当者に連絡します。

#### 【注意点】

- **併願しているすべてのプログラムの要件を満たしている証明書の提出がなければ、面接は免除されません。**
- 一部の非英語プログラムでは語学初級者でも応募可能な Language Focused Programs があります。このプログラムは面接試験の対象ではありません。
- 学内選考における面接試験は学内選考における出願者の語学力の判定の為のものであり、これにより留学先から求められる語学能力を証明する公的試験のスコアカード/証明書の提出が免除されるわけではありません。学内選考後、留学先大学に出願する際、要求レベルを超えたスコアカード/公的証明書の原本の提出が求められた際、提出できない場合、留学先大学から受入許可が下りない可能性もあります。
- 母国語のプログラムに参加を希望する学生は、事前に留学センターへご相談ください。

### 【中国語 Double Degree Programs (DD)】

対象プログラム(予定)：北京大学、復旦大学、国立台湾大学

以上のプログラムに出願する場合は、学内選考出願時に HSK または中国語検定試験の受験・スコア提出が必須となります。スコアを保持しない学生、あるいは提出できない学生は出願することができませんのでご注意ください。中国語 DD プログラムへの出願時には HSK4 級あるいは中国語検定試験 3 級を取得していることが語学力の目安となります。

- ※ HSK4 級、中国語検定試験 3 級に満たない場合でも、HSK または中国語検定試験のスコアを保持していれば出願することは可能です。
- ※ 目安に達しない学生については、語学面での基準を確認するために別途留学センターにて実施する面接試験（11 月 21 日（土）または 28 日（土））を受験する必要があります。面接試験の詳細については、別途対象者に連絡します。

出願者は「DD プログラムへの志望理由書」の提出が必要です。必要提出書類の一覧よりフォーマットをダウンロードし、記載のうえ提出してください。

また、現地出願時までには HSK5 級 180 点以上相当のスコア提示が必要となります。

### 【中国語 EX-R】

中国語の EX-R（EX-L は Language Beginner のため対象外）プログラムに出願する場合、学内選考時に HSK または中国語検定試験の受験・スコア提出が必須となります。

- ※ 留学先大学の求めるレベル・スコアを満たさない場合でも、HSK または中国語検定試験のスコアを保持していれば出願することは可能です。
- ※ 留学先大学の求めるレベル・スコアに達していない学生は語学面での基準を確認するために別途留学センターにて実施する面接試験（11 月 21 日（土）または 28 日（土））を受験する必要があります。面接試験の詳細については、別途対象者に連絡します。
- ※ 面接試験を受け、学内選考で対象プログラムへの合格が出た後も、留学先大学に対しては定められた出願期間に、必要とされるレベルの語学スコアを提出する必要があります。

## ② GPA

プログラムによっては GPA が要求されます。MyWaseda より「成績照会」内の各科目の成績を各自確認し、計算してください。学内選考時、GPA が留学先大学の要求を満たしていない場合は選考対象外となります。

学内選考で使用する GPA の計算式は以下の通りです。この計算式は留学センターが海外留学学内選考用に独自に定めたものです。学部・研究科での算出方法と異なります。

$$\{ (4.0 \times A^+ \text{取得単位数}) + (3.5 \times A \text{取得単位数}) + (3.0 \times B \text{取得単位数}) + (2.0 \times C \text{取得単位数}) + (0 \times F, G, H \text{等単位数}) \}$$

総履修単位数（卒業算入科目として登録した単位数の合計）

※総履修単位数とは取得単位数と F、G 等となった科目の単位数を合算したものをいう。

成績評価と成績表記の関係は以下の表を参照してください。

評価（素点）	学内選考で使用する成績表記
100～94	A <sup>+</sup> (4.0)
93～90	
89～87	A (3.5)
86～83	
82～80	B (3.0)
79～75	
74～70	

6.9～6.0	C (2.0)
5.9～5.0	F**
4.9～0	G**

【注意点】

- F と G の範囲および H は各学部、研究科で異なります。
- 小数点第 3 位切り捨てで計算をしてください。（例）2.996⇒2.99（3.0 にはならない）
- P と N は GPA 計算には含めません。また、「総履修単位数」にも含めません。
- 学部の 1 年生で、まだ早稲田大学での成績が出ておらず、GPA が算出できない場合は、**GPA 要件のあるプログラムへは出願できません**。GPA 要件の無いプログラムに出願することは可能ですが、その場合は**高校の英文成績証明書**を提出してください。

## 4. 今回の募集からの変更点（追加情報）について

### 1. 今回の募集の変更点（追加情報）について

#### ■ 半年後出発プログラムの募集有無について

海外留学秋募集における対象プログラムは、通常半年後の春に出発する 1 year/1 semester のプログラムおよび一年後の秋に出発する 1 year 以上のプログラムになりますが、新型コロナウイルスの影響を受け、今年度の秋募集について、半年後出発プログラムは募集致しません。2021 年秋出発となる留学プログラムのみ募集対象となりますので、予めご了承ください。

#### ■ 出願書類の提出について（郵送での提出）

出願必要書類提出は、WEB 出願登録期間と同じく **10月27日（火）～11月4日（水）** です。出願必要書類を期日までに指定された郵送先に郵送してください。

郵送先：〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-7-14 22 号館 1 階 Waseda Global Gate  
早稲田大学 留学センター 派遣選考担当者 行

**期日必着**とし、**期日を過ぎての提出（到着）はいかなる理由でも認められません**ので早めに準備、郵送してください。詳細については募集要項をご確認ください。**大変重要な書類**ですので郵便書留や宅配便等、配達記録の照会が可能な方法での郵送をお勧めいたします。なお、書類の紛失等に関し留学センターでは責任を負いかねますので予めご了承下さい。また、提出書類の受領有無に関する問い合わせには、お答えできかねますので、上記方法での郵送をご利用ください。

#### ■ 語学スコアおよび英文成績証明書について

例年語学スコアおよび英文成績証明書については原本での提出を求めていましたが、今回留学センターへの出願時についてはコピーでも受付可となりました。例年通り原本での提出でも構いません。（語学スコアの詳細については「2. 英語プログラム出願予定者への重要なお知らせ」を参照してください）**英文成績証明書のコピーについては、WEB 成績照会画面のプリントアウトではなく、学部で発行している公式の英文成績証明書のコピーのみ受け付けます**。また、出願先大学によっては英文成績証明書の原本が必要な場合もありますので、改めて提出を求める場合があります。

以前の海外留学募集に出願した方で、前回選考時に提出した語学スコアを使用する場合は、有効期限内のものであれば使用を認めます。スコアのかわりにその旨一筆を書いた紙面を書類提出時に同封してください。

また、2020年秋出発派遣候補者（辞退者含）および2021年春出発派遣候補者（辞退者含）が2020年海外留学秋募集に再度出願する場合、有効期限外のスコア（原本、または、コピー）で出願することが可能です。（以前の海外留学募集に出願した方で、前回選考時に提出した語学スコアを使用する場合の対応は上記と同様です）

学内選考後、留学先大学に出願する際、留学先大学の要求レベルを超えたスコアカード/公的証明書の原本を提出する必要があります。（北米の一部プログラム等、学内選考後すぐに提出が必要なプログラムもありますので、いずれにせよ早めの準備をお勧めします）次回以降の海外留学募集でも同様の扱いを適用するかは未定ですのでご注意ください。（あくまで特例的な措置になります）

#### ■ 志望プログラム数について

これまで最大第7志望まで選択可能でしたが、今回第10志望まで選択が可能になりました。これは、新型コロナウイルスの影響で出願者数やプログラムラインナップに大きな影響がある可能性もあり、出願者の皆さんの決定率を上げるための措置です。ただし、必ずしも第10志望まで選択する必要はなく、選択し決定した場合には原則辞退はできませんのでよく考えて選択するようにしてください。

#### ■ エッセイテスト形式の変更について

例年、一部プログラムを対象に実施しておりましたエッセイテストですが、新型コロナウイルスの影響で皆さんの健康面、安全面を優先・考慮し、教場での試験実施ではなく、出願書類として小論文を提出する形式に変更します。

以下対象プログラムへの出願を希望される方は出願書類として小論文も必ず提出してください。

（出願書類については以下募集情報をご確認ください）

<https://www.waseda.jp/inst/cie/from-waseda/abroad/1year>

#### 【対象プログラム】

##### ■ 英語 Double Degree Program :

National University of Singapore

Earlham College

Shanghai Jiao Tong University

Chinese University of Hong Kong

Chulalongkorn University

## ■ Advanced Scholars' Program :

Yale University CS-R

Oxford St Peter' s College Program CS-R

Oxford Hertford College CS-R

University of Pennsylvania CS-R

提出された小論文のほか、面接、学業成績（GPA）、語学スコア、学習研究計画書、学部・研究科での留学適性判断等をもとに総合的に判断したうえで候補者を選出いたします。小論文提出後、合格者のみ面接試験を受験していただきます。対象者には別途通知します。（出願期間中に小論文をもとに対象プログラムの可否結果発表は行いませんのでご注意ください）

## ■ 面接試験について

例年、DDプログラム、Advanced Scholars' Program、非英語 EX-R プログラム、特定プログラム応募者を対象に実施しておりました面接試験ですが、新型コロナウイルスの影響で皆さんの健康面、安全面を優先・考慮し、対面からオンライン（Zoom）での実施に変更します。

実施は 11月21日（土）または28日（土）を予定しておりますが、出願者の状況により実施日を決定いたしますので、出願を希望する方は両日の予定を空けておくことをお勧めします。

対象者には出願期間後、MyWaseda 経由または Waseda メール宛に実施日時について通知します。（個別の事情は考慮できず、原則日時の変更はできませんのでご了承ください）

なお、出願者の状況によっては11月23日（月）の週の平日で調整をさせて頂く場合があります。（対象者には別途ご連絡いたします）

面接については、**カメラ、マイクが利用できるパソコンを事前に準備、安定したネットワーク環境で受験する必要があります。**

## ■ 2021年春出願 2021年秋出発の EX-R/EX-L(1S)プログラムについて

例年実施しております、春出願、半年後の秋出発となる EX-R/EX-L(1S)プログラムの募集については、今年度（実施の場合は2021年春募集）は実施しないこととなりましたのでご注意ください。

## 2. 英語プログラム出願予定者への重要なお知らせ

### ■ 語学スコアのコピーでの受付可否について

語学能力試験結果（例：TOEFL iBT/IELTS など）については、学内選考時には WEB 画面で確認できるスコア表のプリントアウト等でも受け付けております。ただしその場合、スコアや名前が切れないように、できる限り、原本コピー、または、ウェブ画面からプリントアウト可能な顔写真入りのスコアカードを提出するようにしてください。（本人確認ができないコピー・ウェブ画面のプリントアウトの提出の場合、再提出を求める場合があります）

## 5. 学内選考出願・選考方法について

### (1) 学内選考出願について

海外留学秋募集の出願は、指定期間内に WEB 出願登録および出願必要書類の郵送提出をもって完了し、正式な出願者として選考されます。**指定期間後の登録や提出はいかなる理由でも受け付けません。**また、希望するプログラムによっては、WEB 出願登録および必要書類提出以外に、面接がありますので、スケジュール等を確認してください。

#### ① WEB 出願登録

秋募集に出願するには、まず WEB 出願登録を行っていただきます。

WEB 出願期間： 2020 年 10 月 27 日（火）正午～11 月 4 日（水）17：00

登録先 URL：

<https://my.waseda.jp/application/detail/application-detail?communityContentLinkId=342981214>

※以下 CIE の WEB 上からアクセスしてください。

※出願期間以外はアクセスしても表示されません。

<https://www.waseda.jp/inst/cie/from-waseda/abroad/1year>

#### 【注意点】

- WEB 出願が完了した学生を対象に行う出願必要書類提出（2020 年 10 月 27 日（火）～11 月 4 日（水））をもって、今回の海外留学秋募集への正式な出願となります。WEB 出願登録だけでは正式な出願者とは見なしません。
- WEB 出願登録の締切は 2020 年 11 月 4 日（水）17:00 までです。それ以降のデータ送信は無効となります。また、最終日の 11 月 4 日（水）はアクセスが集中し、登録エラーが多く発生する可能性がありますので、**余裕を持って登録**してください。
- 入力した内容を変更したい場合は、入力内容を変更した後に「保存」ボタンをクリックしてください。一番新しく入力したものがデータとして登録されます。WEB 出願期間中は何度でも変更が可能です。入力期間経過後の変更はできませんので注意してください。また、必須回答項目につきましては、全項目を回答したうえで登録を行ってください。
- 入力に時間を要する場合は入力データの消失を防ぐため、15 分に 1 回を目安にデータ更新（「保存」）をするようにしてください。
- **申請内容確認のメール**が登録後すぐに送信されます（5 分以内）。**メールが届かなかった場合は登録エラーです**ので、再度登録を行ってください。入力した項目は申請フォーム上で確認ができます。必ず内容に間違いがないか確認し、申請内容を印刷して出願手続き完了時まで大切に保管しておいてください。
- 入力内容・入力確認に関するお問い合わせについては応じられませんので 募集要項等をよく読み、自分で判断した上で入力してください。
- システム上の問題等のお問い合わせについては、MyWaseda のグローバルメニュー「IT サービス」の「ヘルプデスク」、「問い合わせ/Support」というリンクから行なってください。ただし、緊急の場合や問い合わせ後数日経過しても不具合が修正されない場合などは、留学センターまでご連絡ください。
- WEB 出願に入力された情報はプログラム運営上、留学センターおよび所属事務所が出願学生やその保証人と連絡をとる必要がある場合にのみ利用され、その他の目的には利用されません。

具体的な入力が必要な以下の (a)～(e) の項目を事前に準備しておく、スムーズに出願登録手続きを行います。



#### (a) 個人情報

- ローマ字（半角大文字）（原則：パスポートと同じ表記、ない場合は通称表記）による氏名、国籍、電話番号、携帯電話、メールアドレス、緊急連絡先氏名と電話番号。
- 留学先の大学によっては、日本国籍以外の国籍を所有する学生の留学を認めていない場合があります。二重国籍をお持ちの方は、必ず質問項目に記入してください。

#### (b) 志望プログラム

- 条件を満たしたプログラムを、**最大で第10志望まで**選択することができます。あらかじめ志望プログラムを確定したうえで検索画面から選択してください。
- 今期の募集対象校の最新情報は、海外留学プログラムリスト（2020年11月締切分）  
(<https://www.waseda.jp/inst/cie/from-waseda/abroad/programlist/list>)  
にて確認してください。
- **GLFPを志望する場合は必ず第1志望**で選択してください。他プログラムとの併願は可能ですが、**GLFPが第1志望以外で選択されていた場合は、GLFPへの出願が無効となります**。出願時点では、あくまでもGLFPとしての出願になります。具体的な志望校については出願必要書類のGLFP専用英語による志望理由書の中で志望動機と共に述べてください。ただし、GLFPの対象校5校のうち、**志望校以外への候補者となることもある**ので、あらかじめその点を理解のうえ、出願を行ってください。
- 一つの大学に複数のプログラムがある場合、それぞれプログラムコードが異なります。**プログラムの選択をする際には、大学名のみではなく、プログラム内容を含め、コード番号の選択に間違いのないように注意してください。**
- 慎重に検討したうえ、なるべく多くの志望校をWEB出願登録時に入力するようにしてください。ただし、候補者として選ばれた後は**辞退が認められません**。出願する際には、十分に注意して手続きを行ってください。

#### (c) 語学能力に関する設問

##### 【英語】

- 出願書類（P.18-19）の「(c) 公的試験証明書」を熟読のうえ、出願するプログラムの要件に該当する公的試験の証明書を準備してください。
- ここに入力されたスコアと同一の公的証明書を出願書類提出時に提出してください。
- WEB出願で入力された公的試験証明書の提出が確認できなかった場合は、入力されたスコア・証明書は無効となりますのでご注意ください。
- プログラムオーバービューや現地大学の語学能力証明として認められていない公的試験証明は、入力されたとしても選考に関与しません。

##### 【非英語】

- 今回募集対象となる言語種別を選択してください（複数選択も可）。
- 語学学習状況・学習計画報告に語学学習歴（学習年数〇年、学習機関〇〇、週〇時間〇コマ、のべ学習時間〇時間）と、現在および今後の学習計画、その他言語学習や能力に関しての特記事項があれば記入してください。
- 該当言語で行われる授業やプログラムについていけるレベルを有する客観的な証明として、「各種語学能力試験等公的試験のスコアやレベル(HSK、DELTA、DELEなど)」をできるかぎり提出してください。
- 特に中国語に関しては、出願書類(P19)の「(c) 公的試験証明書」も熟読のうえ、出願するプログラムの要件に該当する公的試験の証明書を準備してください。

#### (d) 学習・研究計画書

- 制限字数以内で記入してください。和文と英文のいずれでもかまいません。
- **英語 DD プログラム、Advanced Scholars' Program に出願する学生は必ず英語で記入してください。**
- 学習・研究計画書は留学先大学決定後に必要に応じて先方に直接送付されることがあります。



◆問題◆

次の問題に対して、自分自身でよく考え、自らの言葉で記述しなさい。和文・英文ともに、細かな文法的なミス等は、評価の対象とはしないので、必ず自分自身で書き上げること。

※各志望大学の志望理由を、一貫性をもって説明できる場合には、必ずしも大学ごとの志望理由を記載する必要はない。しかし、複数言語にまたがる大学・プログラムを選択している場合には、それぞれについての志望理由が明確となるように記述すること。

問 1 :

興味のある学術分野と絡めて、あなたが留学を目指す目的を説明しなさい。(800字以上～1200字以内)

※英文の場合は 400～600 words 程度

問 2 :

選択した大学の志望理由を書きなさい。(400字以上～800字以内)

※英文の場合は 200～400 words 程度

(e) 【共通】WEB 出願にあたっての同意

以下の 6 点について同意が必要となります。

- WEB 出願時の入力内容、出願必要書類に虚偽の記載はなく、虚偽の記載があった場合には何かしらのペナルティが課されること。
- WEB 出願および出願必要書類については印刷、コピーをし、自身の控えを取っていること。
- WEB 出願締切後の志望プログラム、志望順位の変更はできないこと。
- 海外留学プログラムの候補者として選抜された後は辞退しないこと。
- 海外留学プログラム候補者として選抜された後は、留学先予定大学の変更を申し出ないこと。
- やむを得ない事情で、辞退を申し出る場合、辞退の手続きおよび可否の判断に関しては留学センターの指示に従うこと。

② 出願必要書類提出

海外留学秋募集の出願は、WEB 出願登録を行い、出願必要書類の提出をもって完了し、正式な出願者として選考されます。

必要書類は以下 URL からダウンロードして使用ください。

書類ダウンロード: <https://www.waseda.jp/inst/cie/from-waseda/abroad/1year>

書類提出期間: 2020 年 10 月 27 日 (火) ～11 月 4 日 (水)

出願必要書類を期日までに指定された以下郵送先に郵送してください。

郵送先: 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-7-14 22 号館 1 階 Waseda Global Gate

早稲田大学 留学センター 派遣選考担当者 行

- 期日必着とし、期日を過ぎての提出(到着)はいかなる理由でも認められませんので早めに準備、郵送してください。大変重要な書類ですので郵便書留や宅配便等、配達記録の照会が可能な方法での郵送をお勧めいたします。なお、書類の紛失等に関し留学センターでは責任を負いかねますので予めご了承下さい。また、提出書類の受領有無に関する問い合わせには、お答えできかねますので、上記方法での郵送をご利用ください。
- 志望するプログラムへの出願に際し、指定された「[出願書類提出チェックリスト](#)」および必要書類を以下(a)～(h)の順に揃えた上で、ご自身が用意した A4 サイズの封筒に書類を入れ、封筒表面のわかりやすい場所に「2020 秋募集 応募書類在中」を記入し、郵送してください。提出書類の紙サイズは、可能な限り A4 サイズ でご用意ください。なお、一旦提出された書類の返却は行いません。

また、語学スコア、成績証明書については留学先大学に出願時に使用しますので提出前に、**自分用の控えとしてコピーを忘れずに取って保管してください。**

【出願書類提出一覧】

提出書類	対象者	募集要項 参照ページ
(a) 海外留学プログラム誓約書 原本 1部	全員	17
(a) 海外留学プログラム誓約書 コピー 1部	全員	17
(b) 英文成績証明書	全員 (※国際教養学部生は不要)	18
(c) 【英語】 公的試験証明書 原本 (または、コピー) (TOEFL iBT Test Take Score Report、IELTS Test Report Form など)	対象者	18
(c) 【非英語】 該当言語の公的試験証明書 原本 (または、コピー)	対象者	19
(d) 海外留学募集出願 大学院生推薦状	大学院生 /早大大学院進学予定者	19
(e) GLFP 誓約書 原本 GLFP 専用志望理由書 (英語記述) 原本 GLFP 専用小論文 (英語ないし日本語記述) 原本	GLFP 出願者	19
(f) 中国語 DD プログラムへの志望理由書 (英語ないし日本語記述) 原本 HSK または中国語能力検定試験の公的証明書/スコア 原本 (または、コピー)	中国語 DD 出願者	20
(g) 海外留学募集出願特定プログラム推薦状	特定プログラム出願者	20
(h) 英語 DD プログラム・Advanced Scholars' Program 専用小論文	英語 DD プログラム・Advanced Scholars' Program 出願者	20

(a) **海外留学プログラム誓約書 2部 (原本 1部とコピー 1部)**

- 必ず留学センターWEB ページからダウンロードした最新版の誓約書を使用してください。  
<https://www.waseda.jp/inst/cie/from-waseda/abroad/1year>
- 必要事項を記入して提出してください。保証人の方の署名捺印も必要です。日付も忘れずに記入してください。鉛筆や消えるペンでの署名は、無効となりますのでご注意ください。
- 学生本人、保証人の方両方の署名捺印が完了した後にコピーを取り、原本とともに提出してください。
- 外国籍の方で印鑑がない場合は、記名に加え署名が必要です (保証人欄含む)。
- **WEB 出願時に申請するプログラムすべてにおいて、事前に保証人の了解を得ていることが必要です。**
- GLFP プログラムに出願する場合は共通のプログラム誓約書 2部に加え、それぞれ別途専用の誓約書があります。共通の海外留学プログラム誓約書の原本 1部とコピー 1部に加え、GLFP 専用誓約

書の原本1部の合計3部が、単願・併願にかかわらず必要となります。

(b) 英文成績証明書（原本（または、コピー）1部）

以下の表に従い、必要な成績証明書（すべて英文）を提出してください。

学部生	学部の証明書 または 高校の証明書
修士課程	学士課程の証明書 および 修士課程の証明書
博士課程	学士課程の証明書 および 修士課程の証明書 および 博士課程の証明書

- 修士1年生で修士課程の成績が提出できない場合は、学部の成績を対象とします。
- 博士1年生の場合も、博士課程での成績が提出できない場合は、学士～修士までの成績が対象になります。
- 国際教養学部の学生は、提出の必要はありません。 事務所経由で留学センターに提出されます。
- 学部4年生で、早稲田大学の大学院に進学が決まっている学生は、大学院合格通知書も提出してください。
- 学部の1年生で、まだ早稲田大学での成績が出ておらず、GPAが算出できない場合は、GPA要件のあるプログラムへは出願できません。GPA要件の無いプログラムに出願することは可能ですが、その場合は高校の英文成績証明書を提出してください。
- 英文成績証明書は自動証明書発行機から入手することができます。  
<https://www.waseda.jp/navi/services/opentime-certificates.html>  
キャンパス内の自動発行機での取得が難しい場合は、所属学部・研究科にお問い合わせください。

(c) 公的試験証明書

英語および非英語の公的試験証明書の原本（または、コピー）を提出してください。まだ、原本が入手できていない場合、WEB上のプリントアウト可能な顔写真入りのスコアコピーでも提出が可能ですが、原本または原本コピーを提出いただく必要がある場合があります。

WEB出願の際に入力した公的試験の証明書の提出が無い場合は、入力したスコアが無効となりますのでご注意ください。なお、WEB出願時に入力したスコアと実際に提出されたスコアが異なる場合は、提出された公的試験証明書にあるスコア・レベルを正として選考を進めます。スコアカード（コピー含む）は原則として返却しません。

【英語】

- 出願先大学が定める要求スコアを超えた TOEFL のオリジナルスコアカード (Test Taker Score Report) や IELTS の Test Report Form の原本（または、コピー）を提出してください。プログラムによっては、Section Score (Reading, Listening, Speaking, Writing) 別の要求スコアが設けられている場合もあります。
- 出願の際、TOEFL/IELTS のスコアは 2018年12月8日以降に受験したものを提出してください。 TOEFL/IELTS の 有効期限は2年間であり、学内選考後留学先大学への出願の際、およびビザ申請などに必要となる書類が協定校から発行される前に有効期限が切れる場合は、再受験が必要な場合もありますので注意してください。 その際、再受験結果が学内選考出願時の点数を下回ってしまった場合は、留学先大学からの受入許可が出ない場合もあります。その場合、別の大学への出願はできません。
- TOEFL-iBT および IELTS については、WEB画面で確認できるスコア表のプリントアウトでも受け付けます。その場合、なるべく顔写真入りのスコアコピーを提出してください。 スコアや名前等が不鮮明な場合、再提出を指示する場合があります。最終的にスコア原本またはコピーの提出がない場合は、出願そのものが無効となります。
- TOEFL の Test Taker Score Report は、オンラインでのテスト申込時に My TOEFL Home の「あなたへのスコア通知設定」で「オンライン上でのスコアレポートと郵送されたコピー」を選択しないと発行・送付されません。
- IELTS の Test Report Form は、受験日から13日目に発行され、受験者に郵送されます。その後30日間、無料で提出機関への郵送を設定できますが、出願先の大学や留学センターへの送付はせ

ず、他の書類と合わせて提出してください。

- IELTS は 2 つのモジュール (タイプ) のテストがありますが、留学のための出願には アカデミック・モジュール の受験が必要です。申し込みの際注意してください。
- GLFP 出願の場合は、各受入大学が要求するスコアに達していない場合も出願自体は受け付けます。ただし、学内選考後の留学先大学への出願時 (2021 年 1~2 月) までには、必ず各大学の要求レベルに達したスコアカードの原本を提出することが条件です。

#### 【非英語】 (EX-L, CS のみの出願者含む)

- 非英語 EX-R プログラムの場合は、原則として留学先大学が要求するレベルを超えたスコアカード/公的証明書の原本 (または、コピー) 提出が必要です。ただし、留学先大学が明確な要求レベルを提示していない場合、またはスコアカード/公的証明書を提出できない場合は、対象者に 面接試験 (11 月 21 日 (土) または 28 日 (土)) を実施のうえ、出願者の語学力を判定します (併願しているすべてのプログラムの要件を満たしている証明書の提出がなければ、面接は免除されません)。
- 学内選考出願時に所持していなくても、学内選考後、留学先大学に出願する際、要求レベルを超えたスコアカード (原本) の提出を求められる場合があります。
- 各公的試験証明書の有効期限を必ず確認し、2020 年 12 月 7 日 (月) まで有効な証明書・スコアを提出するようにしてください。学内選考後、留学先大学へ出願する際にスコアが無効となる場合は、再受験が必要な場合もありますので注意してください。
- 中国語の EX-R (EX-L は Language Beginner のため対象外) プログラムに出願する場合、学内選考時に HSK または中国語検定試験の受験・スコア提出が必須となります。スコアは 2018 年 12 月 8 日以降 (中国語検定試験の場合、一部の級は 2015 年 12 月 8 日以降) に受験したものを提出してください。有効期限は 2 年間 (中国語検定試験の場合、一部の級は 5 年間) であり、学内選考後留学先大学への出願の際、およびビザ申請などに必要となる書類が協定校から発行される前に有効期限が切れる場合は、再受験が必要な場合もありますので注意してください。再受験結果が学内選考出願時の点数を下回ってしまった場合は、留学先大学からの受入許可が出ない可能性もあります。その場合、別の大学への出願はできません。
  - ※ 留学先大学の求めるレベル・スコアを満たさない場合でも、HSK または中国語検定試験のスコアを保持していれば出願することは可能です。
  - ※ 留学先大学の求めるレベル・スコアに達していない学生は語学面での基準を確認するために別途留学センターにて実施する面接試験 (11 月 21 日 (土) または 28 日 (土)) を受験する必要があります。面接試験の詳細については、別途対象者に連絡します。
  - ※ 面接試験を受け、学内選考で対象プログラムへの合格が出た後も、留学先大学に対しては定められた出願期間に、必要とされるレベルの語学スコアを提出する必要があります。

#### (d) 大学院生推薦状

大学院生 (修士、博士含む) で出願する方は必ず提出してください。

- 出願するにあたり、研究指導教員と留学について相談をしたうえで、研究指導教員記入欄 (右上) の記入を依頼してください。また、依頼する際は学生記入欄 (中央下部) をあらかじめ記入したうえで依頼、他書類と合わせて書類出願期日までに提出してください。
- 2021 年 3 月に学部を卒業し、大学院へ進学後に留学を希望される方も、同様に提出が必要です。すでに研究指導員が決定している場合は、その教員へ記入を依頼してください。教員が未定の場合は、別途留学センターに出願時にご相談ください。
- Research で留学できるか、Coursework で留学できるかはプログラムにより異なり、プログラムリストに情報が記載されていない場合があります。必ず希望留学先のホームページや希望する研究指導教員にコンタクトを取るなどして自身でも情報収集を行ってください。
- 大学院の出願を希望する場合はウェブ登録前に留学センターまでお問い合わせください。

#### (e) GLFP 出願書類

GLFP プログラムを希望する場合は、以下書類の提出も必要となりますので、忘れずに提出してください。

### GLFP 専用誓約書 (原本 1 部)

- GLFP プログラムに出願する場合は共通のプログラム誓約書 2 部に加え、それぞれ別途専用の誓約書があります。共通の海外留学プログラム誓約書の原本 1 部とコピー1 部に加え、GLFP 専用誓約書の原本 1 部の合計 3 部が、単願・併願にかかわらず必要となります。

### GLFP 専用 英語による志望理由書 (原本 1 部/極力、入力し印刷のうえ提出してください)

#### 小論文 (英語ないしは日本語) (原本 1 部)

- 参考文献の記載方法については特定の指示はありませんが、いずれの場合でも A4 サイズに納めるようにしてください。
- 文字の大きさや行間にルールは特にありませんが、内容が判別可能であることが前提です。

#### (f) 中国語 DD 志望理由書

- 日本語、英語どちらで執筆しても結構です。フォーマットは誓約書等の書類同様、留学センターの WEB ページからダウンロードしてください。

#### (g) 海外留学募集出願 特定プログラム推薦状

p8 に記載がある通り、特定プログラムに出願する方は必ず提出してください。

- 出願するにあたり、指導教員と留学について相談をしたうえで、指導教員記入欄 (右上) のご記入を依頼してください。また、依頼する際は学生記入欄 (中央下部) をあらかじめ記入したうえで依頼してください。

#### (h) 英語 DD プログラム・Advanced Scholars' Program 専用小論文 (原本 1 部/極力、入力し印刷のうえ提出してください)

英語 DD プログラムまたは Advanced Scholars' Program (もしくはその両方) を希望する場合は、提出が必要となりますので、忘れずに提出してください。

## (2) 学内選考方法

### ①学内選考について

出願者の志望プログラムより、以下の選考要素を総合的に判断し、より総合力が高いと判断された学生から志望順位の高いプログラムの候補者に選出します。

- 学業成績 (GPA)
- 語学能力 (TOEFL などの語学試験のスコア)
- 学習・研究計画書
- 書類出願用 志望理由書 (GLFP・中国語 DD のみ)
- 所属学部・研究科での留学適性判断 (方法は各所属箇所により異なる)
- 面接 (GLFP、DD、Advanced Scholars' Program、非英語 EX-R、特定プログラム)
- 小論文 (英語 DD、Advanced Scholars' Program)

### ②各プログラムの選考について

#### (a) GLFP

- GPA が 3.0 以上であることを出願条件として、志望理由書、小論文をはじめとした出願書類の内容をもとに書類選考を行い、面接試験の対象者を選考します。
- 書類選考を通過した学生のみ、**11月21日(土)の面接試験**の対象者となります (書類選考の結果はメールにて個別に通知します)。
- 面接試験の可否は **11月25日(水)～27日(金)** の間に、メールにて個別に通知します。しかし、この段階での可否は仮のものになります。最終結果は 12月7日(月)の学内選考結果発表を確認してください。
- 留学センターでは、最終選考結果発表後、GLFP 候補者全員に対して、GLFP カリキュラムの一環として留学準備の授業科目の履修を義務付けています。授業科目は 2021 年春学期に開講する予定です。
- GLFP の候補者として選抜された学生は、本プログラム所定の全課程を修了する義務があります

(詳細は GLFP 誓約書をご確認ください)。

(b) **DD プログラム**

《英語 DD プログラム》

- 出願手続きを滞りなく済ませ、小論文について合格となった方に限り、11月21日(土)または28日(土)の面接試験を受験いただきます。試験の詳細は別途対象者にご連絡します。
- Earlham College, DD に関しては、12月7日(月)の学内選考結果発表後、Earlham College 側の選考を経て、最終合否が別途通知されます。

《中国語 DD プログラム》

- 中国語 DD に出願される方は、p20 に記載がある通り志望理由書の提出が必要となります。

(c) **Advanced Scholars' Program**

- 出願手続きを滞りなく済ませ、小論文について合格となった方に限り、11月21日(土)または28日(土)の面接試験を受験いただきます。試験の詳細は別途対象者にご連絡します。

《Yale Visiting International Student Program (Y-VISP)》

- このプログラムに関しては、12月7日(月)の学内選考結果発表直後、イェール大学所定の出願書類を留学センターに提出します。なお、出願書類として推薦状(2通)が必要になります。その後、2021年1月上旬にイェール大学による面接試験(日本にてスカイプを利用予定)が行われる予定です。合否は2021年2月上旬に発表予定です。

(d) **非英語プログラム (EX-R)**

- 非英語の EX-R プログラムに出願する学生で、留学先大学が明確な要求レベルを提示していない場合、および出願時にスコアカード/公的証明書の原本(または、コピー)を提出できない場合は、対象者に11月21日(土)または28日(土)の面接試験を実施のうえ、出願者の語学力を判定します。
- 対象者には留学センターより事前に通知があります。
- 併願しているすべてのプログラムの要件を満たしている証明書の提出がなければ、面接は免除されません。

(e) **特定プログラム**

- 特定プログラムに指定されているプログラムに出願する学生は、11月下旬に面接が実施されます。対象者には個別に連絡します。

(f) **上記以外の英語 EX・CS、非英語 EX-L・CS プログラム**

- 留学センターでは、面接試験を行いませんが、所属学部・研究科での留学適性判断において各所属学部・研究科による面接が実施される場合があります。

③学内選考結果発表について

今回の海外留学秋募集の選考結果は MyWaseda の「お知らせ」にて 2020年12月7日(月)13:00以降に発表いたします。

以下の画面の通り、MyWaseda (<https://my.waseda.jp/login/login>) にログインし、中央にある「個人宛・所属事務所から・重要なお知らせ」に出願者の選考結果を通知いたします。





#### 【注意点】

- 学内選考結果の表示期間は結果発表から3か月です。
- 一度通知を確認した通知は「お知らせ」欄には表示されなくなります。再度通知を確認したい場合は、右側の「一覧へ…」のページに移動し、「検索（既読のお知らせ参照はこちら）」より「既読」の条件を指定し、「国際交流」にチェックが入った状態で検索してください。

#### ④併願について

- 所属学部・研究科の箇所間協定によるプログラムとの併願は認められません。
- ただし、留学センターの出願書類提出期限（11月4日（水））までに、その結果が判明する場合はこの限りではありません。箇所間協定の結果が出た段階で、留学センターのプログラムは辞退する旨、留学センターに連絡をしてください。

## 6. 候補者の諸手続きについて

派遣留学候補者に決まった場合、留学前・留学中・留学後に諸手続きを行う必要があります。以下は主な手続きとなります。詳細は留学センター等より連絡いたしますので、指示に従い、対応してください。

### (1) 留学先大学への出願

学内選考通過後、候補者に選ばれた方は、早稲田大学から推薦される学生として、留学先大学に応募する資格を得たことになり、留学先大学への出願手続きが必要となります。

ただし、それは留学先大学からの受入許可を100%保証するものではありません。実際に留学できるかどうかは、留学先大学の選考によって最終決定がなされますので注意してください。留学先大学への出願手続きならびに留学先大学での選考は2020年12月～2021年8月にかけて行われます。

また、候補者に選ばれた後においても学業不振・書類提出の締め切りを守らない場合・必要な手続きを行わない場合・オリエンテーションへの出席が著しく悪い場合など、留学をするにふさわしくないと留学センターが判断した場合は、渡航直前や渡航後であっても、留学中止の勧告を行うことがあります。

修士課程・博士課程での留学については、事前に留学先の候補として選んでいる大学の研究指導教員等からの受け入れ許可が必要な場合が多いため、あらかじめ志望する大学に打診のうえ、出願時に留学センターにもその旨連絡してください。

### (2) 海外留学奨学金への申請

- 留学センターから案内する留学のための奨学金は全て給付型（返済不要）です。ただし必ずしも全員が受給できるとはかぎりませんので、出願する場合も留学の経費負担計画には



含めないでください。

海外留学奨学金の詳細については、留学センターホームページをご確認ください。

<https://www.waseda.jp/inst/cie/from-waseda/aid/scholarship>

- 留学のための奨学金は、学内選考で留学候補者として選考された時点で応募可能となります（奨学金の応募はこの1度のみです）。特定の奨学金および志望順位を指定して応募することはできませんが、1度の応募で受給資格のある全ての学内奨学金に一括エントリーできます。
- 受給者発表および奨学金支給のタイミングは奨学金によって異なり、出発直前あるいは出発後になる可能性があります。奨学金の支給が帰国後になる可能性もあります。
- 奨学金の募集期間の発表および留学のための奨学金募集要項は学内選考結果発表後に対象者に案内いたします。
- 提出書類（予定）：奨学金申請書、父母の課税・非課税証明書、自己推薦書、高校の成績証明書（2020年9月入学の1年生のみ）

提出書類の詳細については奨学金募集要項を必ずご確認ください。奨学金の案内については、留学センターからの連絡に注意してください。

### (3) 査証（ビザ）取得および航空券の購入について

- 査証（ビザ）および滞在許可は渡航先国の目的において定められた入国や滞在に必要な書類の一部であり、各国の移民法に準じて定められています。
- 査証の取得に関する諸条件をはじめ、その手続き（申請）方法、必要書類（申請書等）や申請費用などにおいても全て渡航先国によって異なり、またその条件等は予告なく変更されます。
- 留学先ごとの査証取得の際、残高証明、翻訳証明、銀行口座通帳等の提出を必要とする国もあり、諸手続の際はそれらの書類を速やかに準備しなくてはなりません。留学を希望する国の大使館や関連ホームページで必ず最新の情報（必要書類・申請料・申請期間等）を得るようにしてください。
- 入国の際の航空券の種類に関し、査証や国により制約がある場合があるので各自ご確認ください。
- 査証取得の手続きおよび航空券の購入の責任は、全て申請者に委ねられることをご理解ください。

#### ◆オーストラリアのプログラムに関して◆

- ・日本国籍保有者以外のオーストラリアの留学ビザ申請には、ビザ申請時に規定の語学能力スコアを求められることがあります。各自で条件を必ず確認してください。
- ・したがって、学内選考時の協定校要求スコアをクリアして早稲田大学内の選考を通過し本学の候補者となった場合でも、その後ビザ申請用の所定要求スコアを取得することが必要になる場合があり、指定試験の所定要求スコアを満たさないとビザの申請をすることができず、結果的に渡航不可となりますので十分ご注意ください。
- ・なお、ビザ申請についての情報は予告なく頻繁に変更されますので、オーストラリアの協定校へ出願される場合には最新情報をご自身でもしっかりと確認し取得するように努めてください。
- ・オーストラリアのビザ申請詳細ウェブサイトをご参照ください。<http://www.immi.gov.au/>

#### ◆イギリスのプログラムに関して◆

- ・語学要件として IELTS のみを指定している大学に出願される方は、要求されている IELTS のスコアを学内選考出願の時点で提出する必要があります。
- ・IELTS は2つのモジュール（タイプ）のテストがありますが、留学のための出願にはアカデミック・モジュールの受験が必要ですので申し込みの際注意してください。
- ・語学履修を含む一部 EX プログラムおよび CS-L プログラムについては、IELTS for UKVI (SELT IELTS) という通常の IELTS とは異なるテストスコアの取得が必要となります。

【参考】

UKVI : <https://www.gov.uk/government/organisations/uk-visas-and-immigration>

British Council : <http://www.britishcouncil.jp/>

日本英語検定協会 : <https://www.eiken.or.jp/ielts/>

#### (4) 留学中の単位と留学後の単位認定について

- 全てのプログラムにおいて、前提とされる科目 (Pre-requisite) を履修していない場合や、履修人数の制限により、留学先大学において希望の学部での履修が認められない、もしくは受講を希望する科目に登録できないことがあります。
- プログラムは、皆さんが学ぶに値すると留学センターが判断した内容になっていますが、現地大学で取得した単位が早稲田大学の所属学部・研究科の単位として、自動的に認定されるわけではありません。
- 留学先大学での取得単位がどれだけ早稲田大学での単位として認定されるかについては、**各所属学部・研究科の判断に委ねられています**。標準修業年限 (学部は4年) での卒業が保証されてはいませんので、事前に所属学部・研究科にもよく相談して、誤解のないようにしてください。
- 単位認定は自らが申請しない限り、自動的にには行われませんので、手続きの詳細をよく確認してください。

### 7. 危機管理について

#### (1) プログラム選択時の海外安全情報の確認

- 「留学の手引き (日本語版) 2020-2021」p33 記載のとおり、留学先地域の検討に際しては、自分自身で地域の安全情報を確認するとともに、現在の国際情勢では、渡航、滞在中も常に注意が必要であることに留意してください。
- 外務省では、海外安全ホームページ (<https://www.anzen.mofa.go.jp/>) で、地域別国一覧から、その国の最新の海外危険情報、過去の情報データベース、多発している事件の傾向と対策など、きめ細かな渡航情報を提供しています。
- 「危険情報」が出されている地域もありますので、当該地域を留学先として検討している場合には、自己責任がとれる範囲内で学習や研究上の必要性を勘案したうえで出願してください。

#### (2) 早稲田大学義務付け海外旅行保険への加入

- 留学センターの留学プログラムに参加する学生は、**本学の指定する海外旅行保険 (東京海上日動火災の海外旅行保険) への加入が義務付けられており、加入しない状態での留学は認められていません**。
- 本学指定の海外旅行保険は、一般的な保険料よりも安くなっています (12ヶ月で152,030円/2019年12月現在)。
- 留学先大学においても健康保険や医療保険への加入を求められる場合には、**早稲田大学義務付け保険加入と併せて、必ず現地保険への加入が必要です**。留学する国、留学先大学や期間によっても異なりますが、留学期間中の保険料として小額な場合で3万円から、高額な場合だと20万円程度必要な場合があります。
- 精神的疾患、歯の治療費、また持病と見なされる場合 (既往症) には早稲田大学が加入を義務付けている保険の補償対象外となります (その他の補償対象の有無は保険補償規定に準じます)。
- 本学義務付け保険の保険料は、前年度における事故損害件数や補償額により変動します。保険料のお支払いについては、留学手続き開始後にすみやかに指定の保険代理店口座へお支払いをいただく必要がありますので、あらかじめご了承ください。なお、2021年度の正式な保険料確定は2020年12月下旬以降となる予定です。

#### (3) 海外用携帯電話レンタルサービスへの加入

- 留学期間中の様々なリスクに対応するために、**留学をする学生全員へ留学センターが包括契約をする海外用携帯電話レンタルサービスに必ず加入いただきます**。
- 登録費用や毎月の基本料は原則として全て無料です。
- お支払いいただくのは、使用した通話料、および通信料 (ショートメール料金含む) のみとなります。

す。ただし、通話料は国により異なるほか、インターネット利用による通信料は、国によって高額となる可能性がありますので注意してください。

- 加入手続きの際は、清算に必要なクレジットカードの登録が必要です。